

2050年に向けたガス事業の在り方研究会 中間とりまとめ (ポイント)

ガスを取り巻く 環境変化

世界的な脱炭素化の要請/2050年カーボンニュートラル宣言

自然災害の頻発化・激甚化

少子高齢化・人口減少

デジタル化の進展

脱炭素化・レジリエンス強化・経営基盤強化という3Eの観点からガスの役割・取組を整理

脱炭素化

高いレジリエンス強化

経営基盤強化

- ▶ 熱エネルギーの供給
 - ・産業・民生部門のエネルギー消費の約6割
 - ・産業部門の高温域は電化が困難
 - ・ガスの脱炭素化により熱の脱炭素化に貢献
- ▶ コジェネによる熱の有効利用
- ▶ 再エネの調整力
 - ・再エネ+コジェネ
- ▶ トランジション期の低炭素化

- ▶ エネルギー源や原料調達の多様化
- ▶ エネルギーネットワーク多様性確保
- ▶ エネルギーの面的利用
 - ・地域にコジェネで電気・熱を供給
- ▶ 再エネ電気の貯蔵・活用

- ▶ 経済成長の牽引
 - ・企業間の競争・連携、新市場の開拓
- ▶ アジアのLNG導入時支援
- ▶ 地方創生・SDGsへの貢献
 - ・需要家が求めるエネルギー等の提供
 - ・自治体・地域企業と地域課題解決
- ▶ 地方での脱炭素化の担い手
 - ・バイオガス、水素など地域資源活用

- ▶ ガスの脱炭素化に向けて
官民で取組を推進する体制整備
- ▶ メタネーションの推進
 - ・技術開発の促進、実証事業の実施
 - ・海外サプライチェーン構築の推進
- ▶ 水素直接利用などの推進
 - ・安価な水素供給、地域での水素利用
 - ・カーボンニュートラルLNG導入促進
- ▶ 燃料転換推進(石炭・石油→天然ガス)

- ▶ ガス安定供給確保
- ▶ デジタル化の推進
 - ・スマートメーター普及、ガス・電気等の共同
検針の検討
- ▶ 分散型エネルギーシステムの推進
 - ・再エネ、コジェネ、デジタル技術など活用
 - ・電気・ガスのデータ連携、PtoG・GtoPによる
需給の最適化 (セクターカップリング)

- ▶ 国内外への更なる事業展開
 - ・調達先の多様化、トレーディング
 - ・海外エネルギーサービス事業の展開
 - ・デジタル技術活用
- ▶ ガス事業者の主体的取組
 - ・電気・LPなど経営多角化
 - ・同業種・他業種・自治体と連携
 - ・再エネ・水素・バイオマスなどエネルギー
地産地消へ積極的取組
- ▶ 業界団体や行政のサポート

ガスの役割

取組